

第 19 回郷土のまつり写真コンテスト表彰式



1

4月27日、神社庁講堂にて、第19回「郷土のまつり写真コンテスト」表彰式が開催された。県内各地での祭りの様子を撮影された写真が出展され、応募総数が259点を数えた。

表彰式に先立ち三浦正典教化委員長が挨拶、続いて来賓代表として中日写真協会高島良樹委員長が、「写真のターゲットとしての祭は奥深いものがある、それを切り取って行く作業は非常に知的で高級な作業であり、後世に残る作業である」と述べられた。次いで来賓を紹介、神社本庁統理よりの祝電が披露された。

厳正な審査により、平野成明氏の「疾走」に神社本庁統理賞（推薦授与）、大木知子氏の「激しい攻防」に神社庁長賞（特選）、坪内薫氏の「姉妹」に総代会長賞（特選）が贈呈された。さらに準特選7点、入選9点、佳作15点が計34名に贈られ、表彰式を終了した。

主な作品は次ページ以降を参照。



入賞作品

審査評

〔審査 富士写真フィルム(株) フォトアドバイザー 矢野 謙治先生〕



〔神社本庁統理賞〕 疾走

撮影場所：高浜市・春日神社 / 撮影者：平野 成明 氏

高浜市春日神社の「おまん和祭り」での一コマ。疾走する風真、必死に飛び乗ろうとする若者。人馬一体となった躍動感溢れる瞬間が捉えられています。流し撮りの手法が見事に決まり、迫力ある仕上がりとなりました。毎年、このカメラポジションで狙っているのでしょうか。画面構成もしっかりとしたものになっています。



〔愛知県神社庁長賞〕 激しい攻防

撮影場所：熱田神宮 / 撮影者：大木 知子 氏

熱田神宮まつりにて奉納された棒の手。覇気漲る二人の力強い対決は、神宮まつりにふさわしい重厚な雰囲気表現されています。無駄のない画面構成とシャッターチャンス良さが光ります。バックの美しい緑の杜は季節感にも満ちており、清しい気持ちで見られます。



【愛知県神社総代会長賞】 姉妹

撮影場所：岡崎市・能見神明宮 / 撮影者：坪内 薫 氏

岡崎市能見神明宮の「神明宮大祭」でのスナップ。画面左の、お姉ちゃんらしき女の子は、ちょっぴり気取ったポーズ。右の女の子の何とも言えない可愛い仕草。二つか三つ違いぐらいでしょうか、微笑ましい対照を見せております。画面左隅にお婆ちゃん、右にはお爺ちゃん、この構成も成功したようです。